

浅羽野中だより 「胡桃の木」

No.24

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」を身につけた生徒の育成～

令和6年2月16日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

早いもので今月中旬を過ぎ、日中は2月とは思えないような温かい陽気となっています。三寒四温という言葉通り、春が近づいてきていることを実感できる今日この頃です。市内の学校ではインフルエンザによる学級閉鎖の措置をとっている学校も複数ありますが、本校では罹患している生徒は今のところ数名です。現在1, 2年生は3月に行われる3年生を送る会の準備に追われ、3年生は来週21日、22日に行われる公立高校学力検査・面接・実技検査に向けて、最後の追い込みに余念がありません。体調には十分気を付けて過ごしてほしいです。

〔1年生校外学習〕

1日(木)に1年生が上野・浅草方面への校外学習を実施しました。2学期のうちから事前学習や準備を入念に行い、この日に備えました。当日は班ごとに坂戸駅に集合し、チェックポイントの東京駅を通過して、どの班も計画通りに班行動を行いました。上野では科学博物館や動物園、浅草では浅草寺へのお参りや仲見世通りでの買い物を楽しみ、帰りの池袋駅から電車に乗るまでは順調な行程でした。しかし新河岸駅付近で踏切事故が発生してしまい、乗っていた電車が途中で動かなくなってしまいました。帰宅ラッシュとも重なり、非常に多くの人の中で2時間近く途中駅のホームで電車が動くのをじっと待っていたのですが、誰も騒ぐことなくきちんとルールを守り、ようやく動き始めた満員電車で数回に分けて乗車し、何とか坂戸駅まで全員が無事にたどり着くことが出来ました。非常事態だったにも関わらず、パニックになることなく1年生全員が中学生らしく冷静に行動をしてこの危機を乗り切りました。1年生が中学入学以降の学校生活における様々な体験を通して、立派に成長した証です。本当によく頑張りました。



〔生徒朝会〕

15日(木)の生徒朝会は感染予防と寒さ対策のため、体育館ではなくリモートで行いました。今回は、美化緑化委員会・生徒会総務役員からのお知らせと3年生を送る会(3送会)実行委員長の話がありました。美化緑化委員会からはスライドで画像を提示しながら外の花壇に植えてある花の説明、生徒会総務役員からは能登半島地震義援金のお礼、3送会実行委員長からは3月に行われる3年生を送る会についての話がありました。現在1, 2年生は様々な取り組みを分担して、部活動と両立させながら作業や発表の練習を行っています。今年度のスローガンは、「未来への架橋～Believe in yourself～」です。このスローガンの下、お世話になった3年生に感謝の気持ちを込めて1, 2年生が準備に取り組んでいます。



〔学校朝会 校長の話〕

8日(木)に学校朝会をリモートで行いました。「有終の美を飾る」という言葉の意味を確認し、学年末に向けてその言葉にふさわしい生活を送ってほしいという話をしました。

おはようございます。立春が過ぎ、暦の上ではもう春になりましたが、先日は雪が降るなどまだまだ寒い日が続きます。この寒さの中、能登半島地震で避難所生活を送っている人たちは、暖かい布団で足を延ばして寝ることやお風呂に入ることも十分にできないまま、生活しています。そのような人たちのために先週1週間、生徒会総務役員や中央委員が中心となって、義援金の募金活動を行いました。義援金を募金してくれた生徒の皆さん、どうもありがとうございました。皆さんの誠意や温かい気持ちは、必ず被災者の方々に通じるはずです。1日も早いライフラインの復旧や被災地域の復興を願っています。(中略)

さて、来月は今年度最後の月となります。ここにいる全校生徒で学校生活を送れるのもあとわずかです。有終の美を飾ることが出来るよう、一人ひとりが努力して日々の生活を過ごしましょう。今私が言った言葉、『有終の美を飾る』の『有終の美』ってよく耳にする表現ですよ。しかし、『有終の美』の意味を問われると、なかなか説明できないという人は多いのではないのでしょうか。『有終の美』の意味は、「物事を最後まで立派にやり遂げて成果を上げること」です。『有終の美』を分解すると『有終』という言葉に、『美』が付いています。それぞれの意味を見てみると、『有終』は「終わりを全うすること」、『美』は「美しい」になります。つまり、『有終の美』は、「物事を最後まで全うした美しい終わり」という意味ということになります。物事を途中で投げ出したり、諦めたりするのではなく、「最後までやり遂げた立派で美しい終わり」を『有終の美』といいます。

同じ様に使われる慣用句に『終わりよければすべてよし』という言葉があります。しかし、『有終の美』と『終わりよければすべてよし』はニュアンスが違います。

『有終の美』は「努力をしていた人が、最後に立派な成績を残すというように美しい終わり方を迎える」という意味の言葉です。『終わりよければすべてよし』は、「過程はどうであれ、結果がよければそれでいい」という意味です。つまり、あまり努力をしていなくても最後に良い結果が残ればそれでいいということになるので、有終の美とは少々意味合いの違うものとなっています。

「最後までやり遂げた立派で美しい終わり」という意味の『有終の美』。終わりという意味が含まれているので、『有終の美で終わる』ではなく、『有終の美を飾る』といいます。残り少ない日々の中で、3年生は中学校生活を有終の美で飾り卒業していくことが出来るのか。1, 2年生は、今の学年やクラスの生活を有終の美で飾り進級することが出来るのか。有終の美を飾るためには、残された時間の中で何をしなければならぬのかをここにいる一人ひとりがじっくり考えて、学校生活を送ってほしいと思います。3年生は3月15日、1・2年生は3月26日にそれぞれ有終の美を飾ることが出来るように、頑張っていきましょう。期待しています。